

住民主体の公共サービスの提供

武蔵野市

○ 取組の概要

地域住民が主体の NPO が市の支援のもとに子育て相談、交流、情報提供、一時保育などの子育て支援事業を実施（「武蔵野市テンミリオンハウス事業」）。市は補助金と活動拠点となる施設の無償提供により支援。補助を受ける団体は他分野の事業とともに「武蔵野市テンミリオンハウス事業採択・評価委員会」により事業内容及び活動実績を評価される。実施主体が地元の子育て経験者（女性）が主体であるため、住民から気軽に利用できると好評。

○ 武蔵野市の概要



武蔵野市の概要

市役所所在地

●東京都武蔵野市緑町2-2-28

人口

●132,515人

※H17.3.31現在（住民基本台帳人口）

〇 取組について

1. 取組の背景

- ・平成8年に（財）女性労働協会の「保育サービス講習会」を受講した修了生23名が母体となり、平成11年9月に「特定非営利法人保育サービスひまわりママ」を設立。武蔵野市を中心に子育て中の親の多様なニーズにきめ細やかな支援活動を行う団体として活動を開始。
- ・一方、武蔵野市では、地域の福祉団体などの取組に対し年間1000万円を上限に市が運営費の補助を行う事業として「テンミリオンハウス事業」を平成11年度より開始。
- ・平成13年、テンミリオンハウス事業の子育て支援分野の第1号事業として、NPO保育サービスひまわりママによる「テンミリオンハウスあおば」の運営事業を支援対象とすることとした。

2. 取組の具体的内容

■「テンミリオンハウスあおば」の事業概要

- ・「武蔵野市テンミリオンハウス事業」は、地域の福祉団体、地域住民等が地域の人材又は建物を有効に活用し、地域において地域の実情に応じて行う福祉事業に対し、市が補助金の交付その他の必要な支援を行う事業であり、補助金の上限は年間1000万円である。
- ・「テンミリオンハウスあおば」は、テンミリオンハウス事業の子育て支援分野の第1号として採択された。一時保育や保護者間の交流促進、相談などの事業を行うものである。
- ・事業内容は以下の通りである。
 - －ひまわり事業（一時保育・宿泊保育）

0～小学校在学児童を対象に子どもを預かる。預ける理由は介護からリフレッシュまでどのような理由でも構わない。時間単位だけでなく宿泊保育も可能。
 - －あひる事業・はあと事業等（交流、情報提供、子育て相談）

就学前の子どもと保護者、妊娠中の市民などの交流の場の提供と育児情報提供。子育て中の市民や妊娠中の市民からの相談に対応する。相談中は一時保育を利用できる。
- ・利用者数は以下の通りである（平成16年度実績）
 - －ひまわり事業（一時保育・宿泊保育）：延利用者数2,124人
 - －あひる事業・はあと事業等（交流、情報提供、子育て相談）：延利用者数1,281人

図表 テンミリオンハウスあおばの外観



3. 取組にかかる事業費

- ・ 「武蔵野市テンミリオンハウス事業」の対象として、同事業実施要項に基づいて、年間の運営経費に対し上限 1000 万円の補助金を交付している。（武蔵野市テンミリオンハウス事業全体の事業費は平成 15 年度決算額 5645 万 1203 円（高齢者対象）・919 万 1840 円（子ども対象））
- ・ また、「あおば」の施設は市が民家を借り上げ、改装したものを無償で転貸を受けている。（借り上げ費用は年間 240 万円（再掲））

4. 取組の体制

- ・ 「テンミリオンハウスあおば」に対する市の窓口は、保育課が所管課として対応している。
- ・ 福祉全般が対象となるテンミリオンハウス事業の活動団体全般に対しては、市の社会福祉協議会がアドバイスや相談の窓口になっている。
- ・ 「武蔵野市テンミリオンハウス事業採択・評価委員会設置要綱」にもとづき、補助を受ける団体及び事業の採択とともに、活動実績の評価を行っている。
- ・ 「テンミリオンハウスあおば」の運営は、「特定非営利活動法人 保育サービスひまわりママ」が行っている。

■「特定非営利活動法人 保育サービス ひまわりママ」の概要

【設立】平成 11 年 9 月

【設立目的】

「ひまわりママ」は地域の子育てが一段落した女性たちが、子育て中のお母さんを支援する団体であり、以下の目的をもって設立された。

- ・ 子育て中のあらゆる親をサポートする
- ・ 子どもにとって最善の保育方法をとる
- ・ お互いの顔が見える子育てをめざす
- ・ ボランティアの気持ちで相互援助活動を心がける
- ・ 地域の子育て環境や自然を十分活用し、育児を楽しむことのできる街づくりに貢献する。

- ・ 未来を担っていく子どもたちを育てる大切さと、子育ての楽しさを伝えていく。

【会費】

- ・ 利用会員 個人 300 円／月、 団体 500 円／月

5. 取組の成果

- ・ テンミリオンハウス事業全般として、地域の福祉団体の活動の活性化が図られ、市民自らの手で地域福祉の充実に取り組む機運が醸成された。
- ・ テンミリオンハウスあおばの活動により、それまで前例のなかった、一時保育を市の補助により実施する試みに対し、思った以上にニーズが大きいことが把握できた。
- ・ テンミリオンハウスあおばの事業のうち、相談対応に関して、構成メンバーが地元の元子育て主婦である NPO 法人が提供するサービスであることから、行政職員が行うよりも気楽に利用でき、活発に利用されている。

6. 今後の課題

- ・ 一時保育を中心とした同種の施設に対してニーズが大きく、利用率が非常に高い。一時保育、相談は原則として予約制であるが、かなり予約が取りにくい状況になっている。
- ・ こうした状況にありながら、所有者の貸し出し希望期間と事業予定期間とが合致しないなど、2 番目、3 番目の施設を整備するために適切な建物の確保が困難である。